

学校教育における取り組みが評価されました

12月17日(火)、川内北中学校と川内南中学校の教諭3人と東郷学園義務教育学校の校長が表敬訪問し、県優秀教職員表彰の受賞を報告しました。

これは、学校教育における学習指導や生徒指導などで顕著な実績がある教職員や学校を表彰するもので、不登校未然防止の取り組みや、学校・家庭・地域が一体となった学校経営などが評価されたものです。



共に生きる社会に向けて

12月19日(木)、中央公民館で、手話奉仕員養成講習会基礎課程の修了式を行いました。

受講生は2年に渡り講習会に参加し、手話の知識と技術を習得してきました。代表して、川内中央中学校3年の花森美紅さんに市長から修了証書が授与されました。障害の有無にかかわらず意思疎通が円滑に行われることを目指します。



地域とPTAの新たな連携

12月1日(日)、丸山自然公園で、丸山クエストを初めて開催しました。

これは、樋脇地域の小中学校からなる樋脇地域PTA連絡協議会と子ども会が、樋脇地区コミュニティ協議会に提案し実現した新たな取り組みです。

樋脇地域の児童・生徒など155人が参加し、地図を手に設定された時間内に各チェックポイントを回りながら丸山を散策しました。



【情報提供：樋脇地域PTA連絡協議会】

高校生が税の仕組みを学ぶ

12月6日(金)、本校商業科2年生61人と3年生8人を対象に、川内税務署の職員を講師に招き、租税教室を実施しました。

生徒たちは、税の意義や役割を正しく理解しようと熱心に講義を受け、インボイス制度や企業側の消費税の取り扱いについて学びました。



【情報提供：川内商工高等学校】

本市での長年における功績を表彰

12月19日(木)、本庁で、文化功労者等表彰式を行いました。

これは、芸術、文化の振興、発展に永年貢献された個人・団体を表彰するもので、今年度は、個人2人と1団体が受賞されました。



冬の空に舞うこいのぼり

12月22日(日)、旧野下小学校グラウンドに、こいのぼりを掲揚しました。

年末年始に故郷の野下へ帰省した方々を迎えるとともに、地区住民の士気を高める地域活性化の一貫として毎年行っています。



【情報提供：野下地区コミュニティ協議会】

遊ぶ！体験！学ぶ！食べる！

12月8日(日)、SSプラザせんだいで、事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会主催によるお仕事博覧会Workわくマルシェ2024 in さつませんだいが開催されました。市内17の企業、団体、学校が出展し、約1,000人が来場しました。訪れた子どもたちは、各ブースでお仕事の体験や各製品に触れるなどして楽しい時間を過ごしました。



甑島での地域活動が評価

12月11日(水)、県庁で、地域づくり表彰の表彰状授与式が行われ、里町の「東シナ海の小さな島ブランド株式会社」が国土交通大臣賞を受賞されました。

これは、耕作放棄地の再生プロジェクトや古民家再生などこれまでの地域における取り組みが評価されたものです。



善意に感謝

12月25日(水)、京セラ(株)鹿児島川内工場から市共同募金委員会へ歳末たすけあい募金と赤い羽根共同募金、市社会福祉協議会へ京セラ福祉基金の贈呈がありました。

これらの取り組みは、同工場従業員の皆さんの善意により永年続けられているもので、本市の福祉向上に役立てられます。



ふるさとの良さを知りました

12月25日(水)から2泊3日で、冬のアドベンチャー「薩摩川内ばっけもんの挑戦」を行いました。

69kmの自転車走行、消防局での防災研修や甲冑工房丸武の見学、矢立農村公園「せせらぎの里」でのニジマス釣りなどの活動を通し、参加者同士友情を深め合いながら、ふるさとの良さを知ることができました。



いつまでも健康でいるために

12月13日(金)、隈之城地区コミュニティセンターで、福祉に特化した「福祉フェア in くまのじょう」を開催しました。

来場者は、講演や福祉用具、在宅介護に関する相談や食生活改善推進員による試飲、地域おこし協力隊の尾野さんが教える「はんとけん体操」などを行いました。先着100人にはミニクラメンを配布し、会場は大いに盛り上がりしました。



【情報提供：隈之城地区コミュニティ協議会】

高校生が早めのライト点灯を呼び掛け

12月16日(月)、隈之城交差点で、おもいやりライト運動が実施されました。

この運動は、夕暮れ時のヘッドライト早期点灯をドライバーに促すためのもので、れいめい高等学校の生徒20人が「早めのライト点灯を」など書いたプラカードを掲げました。ドライバーは笑顔で応じ、交通事故防止に努めました。



【情報提供：薩摩川内警察署】